

# 登別市事業仕分け調書

平成 21 年度作成

<b>番号</b>	10	<b>事務事業名</b>	国立公園清掃活動事業補助金
-----------	----	--------------	---------------

<b>部 名</b>	観光経済部	<b>グループ名</b>	観光室 観光振興 G
------------	-------	--------------	------------

<b>事務事業コード</b>	31112002	<b>事業開始年度</b>	昭和 59 年度	<b>事業終了予定年度</b>	平成 - 年度
----------------	----------	---------------	----------	-----------------	---------

<b>関連事務事業名</b>	国立公園清掃活動費補助金（国）、自然公園美化活動推進事業（北海道）
----------------	-----------------------------------

<b>事務事業の実施根拠</b> (根拠となる法令・条例・規則・要綱等)	<b>種別</b>	5 市単独で実施している事務事業
	<b>法令等名</b>	自然公園法等
	<b>法令等の内容</b>	自然公園法第3条において、国、地方公共団体、事業者及び自然公園の利用者は優れた自然の風景地の保護とその適正な利用が図られるよう努めることとされている。

<b>実施方法</b>	市が直接実施
	民間等へ業務委託または指定管理 (委託先: )
	補助金 (補助先: 財団法人 自然公園財団 登別支部 )

## 事務事業の目的と内容

<b>対象</b>	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか。地域や年齢等が限定される場合は詳細に記入) 財団法人 自然公園財団 登別支部
<b>事業の目的</b>	(何のために事業を実施したのか。または何のために事業を実施しているのか) 当市の支笈・洞爺国立公園内において美化清掃等を行い、国立公園内の自然環境保持に努めるとともに、重要な観光スポットである地獄谷周辺、大湯沼などの美化を図ることを目的とする。
<b>事業の内容</b>	(事業の内容【手段・手法・活動など】) 国1/4、道1/4、市1/4の補助金と財団法人自然公園財団1/4の負担金により、4/4方式をとり、財団法人 自然公園財団の職員が国立公園区域内(地獄谷周辺、大湯沼、クッタラ湖展望台、サンスポーツランド周辺、オロフレ峠駐車場)を毎日見回りし、ごみ拾いや、草刈、施設の小破修繕、案内板の維持管理等を実施している。

## 事業費

区 分			単位	19年度 決算額	20年度 決算見込額	21年度 予算額
<b>事業の財源内訳</b>	国庫支出金	名称	千円			
	道支出金	名称	千円			
	その他	名称	千円			
	地方債		千円			
	一般財源		千円	500	500	500
<b>合 計</b>				500	500	500
<b>上記事業を実施するために必要となる人件費(概算)</b>	職 員	千円	92	91	92	
	嘱 託 員	千円	0	0	0	
	臨時職員	千円	0	0	0	
	<b>合 計</b>			92	91	92
<b>総合計(合計 + 合計)</b>			千円	592	591	592

<b>事業費内訳</b>	(21年度予算ベースの事業費の具体的な内訳【節名ごと】) 国立公園内清掃活動費補助金 500,000円
--------------	--

番号	10	事務事業名	国立公園清掃活動事業補助金
----	----	-------	---------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室 観光振興G
-----	-------	-------	-----------

### 活動実績

活動指標名 (事業のこれまでの実績【数量・回数・人員等】)	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込み)
清掃活動日数	日	334	330	330
美化清掃従事者延人数	人	334	330	330

### 成果

事業の成果	(事務事業を実施したことでのどのような成果が得られたのか。現状の成果)
	<p>当市の支笏・洞爺国立公園内の美化清掃を進めることにより、自然環境の維持が図られているとともに、国立公園内の重要な観光スポットである地獄谷周辺や大湯沼などの観光施設を清潔な状態に保ち、訪れる観光客に対し、観光地登別市としてのイメージアップにつながっている。</p>

### 担当部による評価

事業の自己評価	(事業の今後の方向性、課題等)
	<p>自然環境の保全と観光客に対するイメージアップの両面において、国や道、(財)自然公園財団と連携しながら清掃活動を実施しており、美化活動の対象となっている地獄谷周辺、大湯沼などは当市における観光資源の核でもあることから、必要性は高く、今後も補助を続ける必要がある。</p>

### 他の自治体の状況

比較参考値	(他の自治体での類似事業の状況)
	<p>同じ支笏洞爺国立公園内にある観光地である洞爺湖町、壮瞥町、支笏湖を有する苫小牧市や千歳市のほか、摩周国立公園内にある自治体も同様の事業を実施している。 補助金額については摩周国立公園の川湯及び支笏湖周辺では、4 / 4方式で各自自治体が100万円の補助を行っており、その他ウトロ・阿寒・昭和新山については、登別市と同様に4 / 4方式で50万円補助を行っている。</p>

### 特記事項

事業の沿革等	(事業の変遷)
	<p>昭和59年以前については、北海道の単費30万円により観光協会が同様の活動を行っていたが、人手不足などにより見回りが行き届かなかったことから、昭和59年に財団法人自然公園財団が登別に設置されたことを期に、国、北海道、市、財団法人自然公園財団がそれぞれ経費を負担し、財団法人自然公園財団が美化活動を行うことになった。</p>